

くったら 倶多楽の噴火警戒レベル

—火山災害から身を守るために—

噴火警報等で発表する噴火警戒レベル

噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。

各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています（レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」）。

倶多楽の噴火警戒レベルは、噴火警報等でお伝えします。

倶多楽の噴火警戒レベルは、地元自治体等と調整して設定しました。各レベルにおける具体的な規制範囲については、地域防災計画等で定められていますので、詳細については地元自治体にお問い合わせください。



倶多楽 噴火警戒レベルと必要な防災対応

噴火警戒レベルに応じた防災対応

レベル5（避難）

危険な居住地域からの避難等。
火口想定域から約1km以内の立ち入り禁止。
道路 は通行できません。

レベル4（避難準備）

警戒が必要な居住地域での避難準備。
火口想定域周辺の立ち入り禁止。
道路 は通行できません。

レベル2（火口周辺規制）

火口想定域内の立ち入り禁止。
道路 は通行できません。

レベル1（活火山であることに留意）

火口想定域内で局所的な熱水活動がみられた場合には、状況に応じて付近の遊歩道等を規制することがあります。

レベル3（入山規制）

レベル下げの場合にのみ使用
火口想定域周辺の立ち入り禁止。
道路 は通行できません。

凡例

- 火口想定域
- 噴火が発生した場合に、噴石の飛散や火砕サージが及ぶ可能性のある範囲
- 居住地域
- 特定地域
- レベルに応じた規制箇所



この図は、国土地理院「地理院地図」を使用して作成しています。



本冊子は、植物油インクを使用しています。



札幌管区気象台 地域火山監視・警報センター
TEL : 011-611-2421 <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>
室蘭地方気象台
TEL : 0143-22-4249 <http://www.jma-net.go.jp/muran/>
倶多楽火山防災協議会事務局：登別市
TEL : 0143-85-2111 <http://www.ci.ty.noboribetsu.lg.jp/>



倶多楽の噴火警戒レベル

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別 警報	噴火警報(居住地域)	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。 (状況に応じて対象地域や方法を判断)	<ul style="list-style-type: none"> ● 人頭大を超えるような大きな噴石が 1 km 程度飛散し、居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫。噴火に伴う泥流が発生、あるいは予想される。 過去事例 なし ● こぶし大程度の噴石が 500m 程度飛散し、居住地域に被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫。噴火に伴う泥流が発生、あるいは予想される。 過去事例 約 200 年前の噴火
			4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要。 特定地域からの避難等が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地震活動の活発化、火山性微動の発生、地熱域の拡大、噴気活動活発化、浅部の地殻変動等により、噴火が発生する可能性が高まっている。 過去事例 なし
警報	噴火警報(火口周辺)	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 特定地域を含む、火口から居住地域近くまでの範囲への立入規制等。 (状況に応じて要配慮者及び特定地域の避難準備等)	<p>【レベル3の発表について】 レベル3は、火山活動が高まっていく段階では使用せず、レベル5から下げる段階で状況に応じて発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火山活動が低下し、こぶし大程度の噴石の飛散が居住地域まで達しない噴火が発生、あるいは予想される。 過去事例 なし
		火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生すると予想される。	住民は通常の生活。 火口想定域内への立入規制等。 (状況に応じて要配慮者及び特定地域の避難準備等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 微小な地震増加、火山性微動等が発生し、噴火が発生する可能性がわずかに認められる。 過去事例 なし
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口想定域内で熱水活動が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口想定域内の一部立入規制等。 道路・遊歩道外への立入規制等。	<ul style="list-style-type: none"> ● 火口想定域内の局所的な熱水活動。 過去事例 明治時代以降の活動 ・ 1952 年昭和地獄の活動 ・ 2007 ~ 2011 年大正地獄の活動 等 ● 火山活動は静穏。

※ レベル5の噴火では、火砕サージの発生の可能性も考えられる。
 ※ 火口想定域とは、倶多楽火山防災マップに記載されている、地獄谷・大湯沼や日和山等を含む約 600m × 約 1800m の楕円領域。
 ※ 火口想定域周辺とは、火口想定域外側の居住地域を除く概ね 200m の範囲。
 ※ 特定地域とは、居住地域のうち火口想定域に隣接した地域。
 ※ 火口想定域内又は火口想定域外に一部飛散する局所的な温泉・泥水・小石・土砂等の噴出については「熱水活動」として扱う。
 ※ ここでいう「大きな噴石」とは、風の影響を受けずに弾道を描いて飛散する大きさのものとする。